

錦上添花

錦ヶ丘中学校
学校便り
10月4日発行 NO.18
文責 出崎 友英

立会演説会に思う。

9月26日に、生徒会役員選挙の立会演説会がありました。私は、毎年この立会演説会がとても楽しみです。

それは、明日の錦ヶ丘中を担う人たちが、今の錦ヶ丘中をどのように感じ、これからの錦ヶ丘中をどんな学校にしたいと考えているのかを知る貴重な機会だからです。

今年は総勢18人の立候補者がそろいました。彼らが立候補しようと決心して、自ら一步を踏み出した勇気を大いに称えたいと思います。そして彼らの背中を押して励まし応援してくれた友達や先生方に、とても感謝したいと思います。

この日まで、立候補者や応援する人たちは、登校時間帯に投票を呼びかけるなど、自分の時間を割いて活発に選挙活動に取り組んでいました。

立会演説会での立候補者と応援者の演説は、どの生徒もとても立派でした。しっかりと自分の考えをまとめ、相手に伝わるように工夫し、堂々とそしてはきはきと発表していました。その内容のクオリティーの高さや壇上での態度に、私はとても驚き、とても感動しました。➤



立会演説会では、立候補した動機として「先輩たちの姿にあこがれて…」「先輩たちの伝統を引き継いで…」という言葉がたくさん聞かれました。これは、3年生がこれまで生徒会活動や普段の生活の中で、行動や発言そして後ろ姿で、お手本、目標となる姿をたくさん示してくれたことの現れだと思います。改めて、3年生の皆さんに感謝したいと思います。

また、立候補者がそれぞれ「あいさつが活発な学校にしたい。」「みんなの意見を取り入れて学校をもっとよくなりたい。」「行事をもっと活性化して、お互いが交流したい。」「地域との連携を図り、地域に誇れる学校にしたい」と言っていました。これは、学校をよりよくするには、生徒相互のコミュニケーションや学校と地域との関わりをもっと活発にすることが大切であると、生徒自身が感じていることの現れです。

明日の錦ヶ丘中を担うリーダーたちの演説を聞きながら、私はとてもうれしく、そしてとても頼もしく感じました。

立候補した18人は、当選してもそうでなくても、これからそれぞれがなんらかの役割を担うことになるはずですよ。

君たちのめざす学校をつくっていきましょう。めざすは日本一の学校です！みんなで力をあわせて、さらなる高みへ進んでいきましょう。

授業研究会がありました。

10月1日(火)、熊本市立の各中学校で**授業研究会**がありました。錦ヶ丘中では〇〇先生と3年〇組の生徒が英語の授業を公開しました。市内の英語科の先生方が多く参観される独特の雰囲気の中で、活気のある公開授業だったそうです。〇〇先生と3年〇組の皆さん、そして本校の英語科の先生方おつかれさまでした。ご来校いただいた皆さん、ありがとうございました。



◆お知らせ・お願いです。

○今、後期の**教育実習期間**です。錦ヶ丘中では4人の実習生が実習に取り組んでいます。4人の様子と自身自身の昔の経験を重ねあわせて「普段の大学生活とはずいぶん違う毎日で、さぞ疲れるだろうな。」と思いながら、実習生の元気なあいさつや、生徒と笑顔で会話する姿にとっても感心しています。実習生の皆さん、がんばってください。

○10月10日(木)は**3年生の合唱コンクール**、そして10月11日(金)は「**錦文化の日**」です。

今年度の「錦文化の日」は、生徒たちの意見や発想を生かした新しいプログラムもあり、当日に向けて生徒たちと先生方で企画・準備・制作・練習などに取り組んできています。遅くなりましたが、当日のプログラムと保護者の方々の参観についてのお知らせを別途配布しています。お時間がありましたら学校にお越しください。



落ち込んだとき立ち直るコツ。

それは何かひとつ、人のためにいいことをしてみることだ。

「先生のコトバ集」より